

AWFCJ Letter

2025.05.20 NO.3



家畜は物ではない
人間と同じように、
ストレスを感じるいのちです。

農業生産法人株式会社まあじゅんのジャージー牧場

AWFCJ (アニマルウェルフェアフードコミュニティジャパン) の姿勢と活動

AWFCJ は生産者(農場)、流通・製造・飲食などの食品事業者、研究者・専門家、消費者という4つの範疇の人々によって構成されており、共通の姿勢として AW (アニマルウェルフェア=家畜福祉) の普及による AW フードチェーンの実現を目指しています。

これまでシンポジウムやセミナー、講演会、農場見学などを開催して内外の AW 最新情報を提供し、参加者ディスカッションを行って理解を深め、積極的な普及活動と提言・提案を行ってきました。

例えば国際シンポジウム・セミナーでは、AW 先進国といわれる欧米の団体・研究者とのネットワークによる講演会やディスカッションを通じてグローバル食品企業の AW ビジネス世界戦略、AW 先進国の生産や販売に関する基準や表示、"End the Cage Age" など EU における AW の法制化に向けた動きなどとともに、アジア各国の最新動向などを伝えてきました。



AWFCJ 主催「AW (アニマルウェルフェア) 基準を学ぶ実践講座」第2回のご案内
日本のアニマルウェルフェアに関わる公的基準の学習・検討
2021年3月6日(土) 13:00~17:00
オンライン(Zoom)開催 参加無料
(※参加費は別途14,000円)

プログラム
開会挨拶: AWFCJ 代表 (矢崎 実) 13:00~13:05
開会挨拶: 大木 実 (会長、農林大学助教授) 13:05~13:10
第1部 「アニマルウェルフェアの考え方に配慮した飼養管理計画」を学ぶ
講演: 八木 淳公氏 (公益社団法人畜産技術協会 特別専任講師) 13:10~13:40
飼養管理計画の一般原則と指針におけるアニマルウェルフェア・飼養管理上の観点 (録画後・内用稿・録画中心)
●飼養管理計画に関する資料の紹介 (録画後) 13:40~14:00
第2部 アニマルウェルフェア畜産基準を認証の現場から学ぶ
講演: 河野 哲也氏 (株式会社アグリファーム 代表取締役社長、アニマルウェルフェア畜産認証推進員) 14:00~15:00
乳牛のアニマルウェルフェア農場認証基準と審査について
＜休憩＞ 15:00~15:20
第3部 日本のアニマルウェルフェア基準・ガイドラインについて考える
講演者との質疑応答・参加者によるディスカッション (進行: 矢崎 実) 15:20~17:00
●主な討議ポイント
①日本における AW 認証の現状、海外比較
②AW 認証におけるチェック項目と優先事項など
③AW に関わる公的ガイドライン等との関係
(有識者 JAS、JGAP、放牧畜産推進協議会等...)
④AW 畜産認証の今後の展開と課題

まとめ・次回のご案内: 大木 実
閉会: AWFCJ 事務局 (池崎 文) 17:00

AWFCJ 事務局 (池崎 文) 17:00
AWFCJ 事務局 (池崎 文) 17:00
AWFCJ 事務局 (池崎 文) 17:00

国内の関心事として鳥インフルエンザや CSF(豚熱)などの家畜伝染病・疾病と AW 畜産のあり方、農水省の飼養管理等に関する指針や認証団体による AW 農場認証基準などについても専門家を招いてセミナー・ディスカッションを行い、AW と家畜の栄養学・生理学視点から「飼い方で鶏卵と鶏肉の質は変わるのか?」など科学的分析に関する講演会・ディスカッションも開催しました。

農水省「飼養衛生管理基準」(案) についてのパブリックコメントに対して意見書を提出し、大阪万博の食品調達について担当部署と意見交換会を開き要望書を提出しました。

オーガニックライフスタイル EXPO には連続参加し、ブースでの展示やセミナーを開催して AW に関わる最新の動向や情報を伝え、会員農場の紹介も行っています。また、各地で開催されるイベントなどで会員有志による普及・啓発活動が積極的に行われています。

AWFCJ はこれから AW に取り組もうという人たち、さらに高いレベルでの AW 実現を目指す人たちを応援・サポートしていきます。



AWFCJ MEMBERS

生産者会員マップ

AWFCJ 生産者は

三ヵ年 AW(アニマルウェルフェア) 改善計画を作成しています。

● 三ヵ年 AW 改善計画作成公表済み

● 三ヵ年 AW 改善計画作成準備中



アニマルウェルフェア 食品企業

Eat Natural

日本のAWの推進を通じて「美味しい革命」に挑戦します!!

〒336-0922 さいたま市緑区大牧1481-6

押上よしかつ

とうきょう特産食材使用店として地産地消(都産都消)を目指す。

〒130-0002 東京都墨田区業平5-10-2

東都生活協同組合

いのちをつなぐ大切なたべものを未来につなげる

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-28-6

アニマルウェルフェア飼育農場

① エルパソ 養豚



北海道の元気な放牧豚(どろぶた)

〒080-0026

北海道帯広市西16条南6丁目13-20

② 北十勝ファーム 肉牛



豊かな自然の力で健康、元気

〒193-0934

北海道足寄郡足寄町美盛3番地の19

③ 小林農園 採卵鶏



鶏を健康に育てることを
一番大切に

〒059-1742

北海道勇払郡厚真町浜厚真467-1

④ なかほら牧場 乳牛



山林で健康的に過ごす幸せ乳牛

〒027-0505

岩手県下閉伊郡岩泉町上有芸水堀287

⑤ 丹沢農場 養豚



養豚から加工まで、安心と安全

〒243-0300

神奈川県愛甲郡愛川町角田230-1

⑥ 黒富士農場 採卵鶏



自然循環農法オーガニック卵

〒400-1121

山梨県甲斐市上芦沢1316

⑦ 白州郷牧場 採卵鶏



水と土がヒトとモノを育む

〒407-0176

山梨県北杜市白州町横手2259-1

⑧ 会田共同養鶏組合 採卵鶏



養鶏を営んで人生の意義と
幸福を体得する

〒399-7402

長野県松本市会田1566番地

⑨ かんばやし自然農園グループ 養豚



中山間地域や離島での
小規模有畜複合農業の展開

〒623-1123

京都府綾部市五津合町縄手34

⑩ 秋川牧園 肉用鶏



無投薬飼育のパイオニア

〒753-0303

山口県山口市仁保下郷10317番地

⑪ まあじゅんのジャージー牧場 乳牛



亜熱帯の島で広大な海山に囲まれ、
花が咲き乱れる牧場

〒907-0452

沖縄県石垣市崎枝555-256

⑫ JA 新いわてくじ短角牛肥育部 肉牛

⑬ 小幡畜産 採卵

⑭ ナリタファーム 採卵鶏

⑮ 渥美フーズ 採卵鶏 肉用鶏 肉牛

⑯ 斉藤牧場 乳牛

第9回AWFCJ総会の報告

2023年11月の臨時総会で選出された新役員体制で1年間の活動を行ってきました。2024年11月24日第9回AWFCJ総会が東京恵比寿の co-ba ebisu 内会議室にて開催されました。会場での対面と Zoom の両方を活用したハイブリット方式としました。正会員数46名中30名（うち委任出席16名）により無事成立しました。承認された2024年度の活動計画のうち、これから実施するものを含めて主な活動をご報告させていただきます。

- ① 2024年10月3～5日 オーガニックライフスタイル EXPO 東京への参加
今回初めてとなるアニマルウェルフェア畜産物の販売
- ② ニュースレター No.2 の発行（全会員に発送済み）
- ③ 2024年10月31日オルガ・キコウ氏 オンラインセミナー
「EU 新体制におけるアニマルウェルフェアと今後の展望」
2023年6月に続き、EU の動物福祉政策と市民活動について知る貴重な機会となりました。
- ④ 2025年5月23,24日 オーガニックライフスタイル EXPO in 京都への参加
畜産商品の販売とアニマルウェルフェアセミナーの実施
- ⑤ ニュースレター No.3 の発行（2025年5月20日）



2024 オーガニックライフスタイルEXPO in Tokyo

2024年10月3日（木）から5日（土）まで、東京都立産業貿易センターで開催された「オーガニックライフスタイル EXPO in Tokyo」に出展しました。

毎年恒例の出展ですが、今回は新しい取り組みとして、会員生産者（三ヵ年改善計画承認済み）の製品を販売しました。販売したのは、会田養鶏の平飼い卵や平飼いオメガ3卵、エルパソの無添加ベーコンや無添加ソーセージ、小林農園のオーガニック平飼い有精卵、てまひま自然農園の豚肉、なかほら牧場の牛乳やプリンなどです。

製品の販売を通して、来場者の具体的な声やニーズに触れることができました。例えば、スーパーで販売されている平飼い卵には手頃なものから高価なものまでありますが、「何が違うのか分からない」という声が聞かれたほか、平飼い卵の中でも価格が手頃なものから売れていく傾向が強いことなどが分かりました。さらに、今回の EXPO のためにエルパソが特別に製品化した無添加ベーコンは「このような商品はめったにない」と好評で、家畜にも配慮したスイーツを求める声も多く、黒富士農場のオーガニックバウムクーヘンについても、今回は参考出品で製品箱のみの展示だったため、「ぜひ購入したかった」と惜しむ声が聞かれました。

会場準備は、エルパソの松葉氏が各生産者からの製品集めや事前の準備などを担当し、矢崎前代表も会場設営を支援しました。会期中は、植木代表をはじめ、上原氏、稲葉氏、池嶋なども加わって交代でブースの運営を行いました。

今後の予定

アニマルウェルフェアデモンストレーション農場制度スタート

現在、アニマルウェルフェア（動物福祉）について市民に知ってもらい、会員以外の生産者に取り組んでもらうためアニマルウェルフェアデモンストレーション農場について検討しています。近日中に会員の皆さまに Web アンケートを実施させていただく予定です。メールが届きましたらご回答のご協力よろしくお願いいたします。

アニマルウェルフェア大学の開催

アニマルウェルフェアについて学習し、深めるためアニマルウェルフェア大学を企画します。

まず初めに11月に生産者会員である渥美フーズのオアシスファームにて放牧養鶏（卵と肉用鶏）と北十勝ファームより導入した短角牛の放牧の様子を見学し、新しく建設された研修施設にてセミナーや意見交換会等も開催する1泊2日の研修会を実施します。詳細が決定しましたらホームページにてお知らせします。

2025年
11月

会員募集中

お申し込みはホームページから
<https://awfcj.jp/memberinscript/>



HP



mail



instagram



facebook

